

(参考1)

有害性総合評価表

物質名： 4,4'-ジアミノ-3,3'-ジメチルジフェニルメタン

有害性の種類	評 価 結 果				
ア 急性毒性	<u>致死性</u>				
		ラット	マウス	ウサギ	他
	吸入毒性：LC ₅₀ =	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
	経口毒性：LD ₅₀ =	1490 mg/kg ^{1), 6)}	情報なし	情報なし	情報なし
	経皮毒性：LD ₅₀ =	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
	腹腔内毒性：LD ₅₀ =	900 mg/kg ⁶⁾ 、	800 mg/kg ⁶⁾	情報なし	情報なし
	<u>健康影響</u>				
	ヒトについての情報はない				
イ 刺激性/腐食性	皮膚刺激性/腐食性：なし ⁶⁾				
	眼に対する重篤な損傷性/刺激性：なし ^{6), 14)}				
ウ 感作性	皮膚感作性：判断できない ⁸⁾ 根拠：塗布ばく露時間、観察期間の情報がなく、惹起濃度も高いことから実験結果を評価することは出来ない 呼吸器感作性：報告なし				
エ 反復投与毒性	ラットに 4 週間、500 mg/kg強制経口投与したところ体重減少、貧血傾向や高アルブミン血症、肝重量増加、組織学的には肝および腎にび慢性脂肪変性が認められた ⁶⁾ 。単一用量のため、無毒性量等、評価レベルの考察はできない。				
オ 生殖・発生毒性	報告なし				
カ 遺伝毒性 (変異原性を含む)	(遺伝毒性の評価例) 遺伝毒性：あり ⁶⁾ 根拠：ネズミチフス菌（サルモネラ菌）を用いる復帰突然変異試験では代謝活性化条件下で陽性を示すと報告されている。				
キ 発がん性	発がん性の有無：ヒトに対する発がん性が疑われる 根拠：IARC 2B（参考：EU 2） 閾値の有無：閾値なし 根拠：代謝活性化条件下でネズミチフス菌（サルモネラ菌、Salmonella typhimurium）TA98 と TA100 に対して変異原性を示す ⁶⁾ 閾値がない場合 ユニットリスク＝2.60 x 10 ⁻⁴ (μg/m ³) ⁻¹ 根拠：カリフォルニアEPAの資料による ¹³⁾ RL (10 ⁻⁴)＝0.38 μg/m ³ 労働補正RL (10 ⁻⁴)＝1.9 × 10 ⁻³ m g / m ³				

	計算式 : $RL (10^{-4}) / (10/20 \times 240/360 \times 45/75)$ 閾値がある場合 情報が不十分であるため求められない。
コ 許容濃度の設 定	ACGIH 設定なし 日本産業衛生学会 設定なし DFG MAK 設定なし